

吹田 ファミリー・サポート・センター通信



クローバー

第18号
2024. 1

あけまして おめでとうございます！



世界を見渡しますと、自然災害は増え、紛争は絶えず、経済は落ち込み…と、明るい未来が見えにくい状況ですが、しかし、新しい年を迎えますとやはり期待に胸が膨らみます。昨年はどうであれ、世界中の誰もが、今年こそは良い年であって欲しいと願っていることでしょう。

吹田の子供たちのために、ファミリーサポートセンターが設立されて早や22年が経ちました。その当時からすると、子育て事情もファミサポ事情もずい分変わってきました。全国的に援助会員が減っている現状ですが、今年もこの活動を通して吹田の街に“小さなつながり”を広げていきたいと思ひます。皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。



更新作業のお知らせ

一昨年より、毎年の更新作業が必要となりました。今年度入会の方以外全員に、会員継続の意思確認をするハガキを同封しています。

ハガキ以外にもFAX、電話、メール、QRコードを読み取っての回答ができます。どうぞよろしくお願ひいたします。



依頼・両方会員用



援助会員用

※封筒の下4桁の数字が会員番号です。

※援助・両方会員で、援助活動情報に変更があればお知らせください。

※メールからの回答には返信を省略させていただきます。

※更新手続きは**2024年2月末まで**に願ひします。一度退会になりますと『再入会』の手続きが必要となりますので、くれぐれもご注意ください。

ホームページでご覧下さい

ファミサポの会員誌【クローバー】は年に3回(1月号・5月号・9月号)発行しておりますが、一昨年より環境への配慮のため、依頼会員・両方会員の皆様には更新作業が必要な1月号のみ発送させていただいています。

ホームページでは毎号閲覧可能になっています。大切なお知らせ事項等もありますので、是非ご覧ください。

どうぞよろしくお願ひいたします。

会員数

依頼会員 1467人

援助会員 203人

両方会員 141人

合計 1811人

(2023年12月1日現在)

おねがい

値上げ値上げの昨今

キャンセルの連絡はお早めに！

援助会員は依頼の申し込みが入ると、サポートするためにいろいろ準備をしてくださっています。そして、ご自身の予定を変更してファミサポ活動を受けてくださる時も多くあります。

『前日までのキャンセルは無料』ということですが、夜中ギリギリのキャンセルも困ります。依頼をされる方は、援助会員の立場に立って依頼をしてくださるようお願いいたします。

活動報告書のサインは？

依頼会員は援助活動終了後、規定の報酬と実費を支払い、援助会員が記入した活動の記録を確認しサインをします。

その際、必ず会員になられている方のお名前前でサインをお願いします。

お食事代ってどうしてる？

保育園や学童保育のお迎えとその後の預かり、また夏休みや冬休みなどの長時間の預かりの場合、食事の時間にかかることがよくあります。

小さい頃は、食べる量にムラがあったり、遊びに夢中であまり食べなかったお子さんが、学童期になると一気に食事の量が増すことがあります。活動報告書からも「おかわり〜」「もっと食べた〜い」などと、すくすくと育っているお子さんの元気な声が聞こえてきます。

食べる量も増えてきたし、一品増やさなきゃ・・・』とお子さんの声にこたえるべく、頑張ってくださいてる援助会員さん、両方会員さん。食費の負担が増えていませんか？

いい関係を築くためには、気を遣い過ぎず、大切なことはお互いに言葉に出してお話ししましょう。お食事代の事も、ぜひその中のひとつに入れてください。年に一度は確認し合ってくださいね。

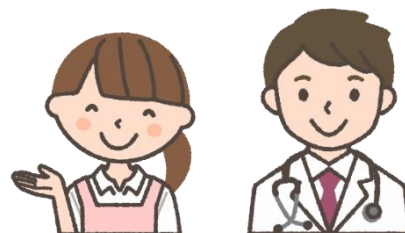


病児・病後児に関する援助活動はできません

病後児の預かりについては、病後の捉え方が人によって異なり、今までは基準があいまいなまま、年に数回受けていた実績がありました。本市では市内6か所の「病児・病後児保育室」にて保育士や看護師、健康管理医師の体制を整えて、病児・病後児保育を実施しておりますので、今後はこちらをご活用いただきますようお願いいたします。



病児・病後児
保育のページ



援助さんと子どもたちのほっこり活動報告

さりげないサインが しっかり伝わってます

(援助会員 Aさんと1歳 Hちゃん)

部屋に入るとプラレールを見つけて、早速遊び始めたので、様子を見て少し経ってから、お母さんにそっと出てもらいました。おむつ替えを最近嫌がると思ったので、大丈夫かなと思ってましたが、うんちが出たので、Hちゃんに何度かお話して、オムツも見えるところに出しておく、ゴロンとして交換をすることができました。初めてのお願いでしたが、泣かないで一日過ごせました。おだやかで人なつっこくて、とてもかわいかったです。

初めての援助活動は わくわくどきどき

(援助会員 Hさんと2歳児 Tちゃん)

初日、Tちゃん(2歳)が泣いてしまうのを覚悟しつつお部屋へ…Tちゃんが私の顔を見るなり「帰る～」と言って、保育園の先生に抱っこされ、両手を広げて私の方へ来た時は、本当に嬉しくて感激しました。事前にお母さんが伝えてくれていたおかげです。帰り道は、視界に入るもの、聴こえてくる音、それらすべてをTちゃんが言葉にして伝えてくれて、毎日、私もTちゃんとの会話を楽しんでいます。

お話するのも聞くのも 楽しそう

(援助会員 Iさんと4歳 Rちゃん)

今日のおやつは「オレンジと芋ようかん」と教えてくれました。

「すごい雨と雷だったね～」と話すとズボンの中にシャツをしっかり入れてました。(かみなりさまにおへそをとられないようかな?)と思いました。暗い空と青い空のお話、保育園では「かざんふんか」という遊びをしたと大きなジェスチャーで教えてくれました。

泣きたい気持ちを 思いっきり 出せる関係って素敵!

(両方会員 Fさんと4歳 Sちゃん3歳 Kちゃん)

今日は二人とも自転車の前の席に乗りたいたいと一歩も譲らず、私がKちゃんの代理としてジャンケンで決めることにしました。でも、私が負けてしまいKちゃんは「前に座りたいと!」と大号泣でした。抱っこしているうちに、少し気持ちが落ち着いたようで、最後は後ろの席におとなしく座ってくれました。Sちゃんは以前から私の家の場所が気になるようだったので、見てみようかということになり、スーパーの方をまわって帰ってきました。

【活動依頼について】

電子申し込みシステムからのご連絡が徐々に増えてきています。ヽ(´▽`)/

最初に登録をしておけば、次から簡単に活動のご連絡をしていただけますので、まだ利用された事がない方は是非ご活用ください。



活動依頼
申し込みフォーム

***注)** 初めての依頼はこのシステムはご利用できません。
必ずお電話でご相談ください。

ファミリー・サポート・センター 講習会・交流会に参加しました

9月27日（水）に高槻市立子育て総合支援センターにおいて北摂交流会、また、10月13日（金）に全国アドバイザー講習会・交流会が開催され参加してきました。

全国的にも9割のセンターが援助会員の不足を感じているという報告がありました。また、アドバイザーの交流会では、ペア成立後、活動がない事も多く、そのような場合でも、援助会員はいつ依頼があるかと気にかけておられるという話を聞きました。

相互扶助の精神がベースとなり、子育てを地域全体で支える取り組みであるファミサポの活動は、お互いの信頼関係により成り立っています。援助活動の内容が多様化する中で、ファミサポの原点である市民によるボランティア活動であること、援助会員への感謝の気持ちの大切さも忘れないように伝えていきたいなあと思いました。

楽しかったね！

ファミサポクリスマス会

12月9日に『人形劇サークル花かご』をお迎えして、4年ぶりにファミサポクリスマス会を開催しました。依頼会員さん援助会員さん両方会員さんのお子さん合わせて31名が参加され、楽しいひと時を過ごしました。



みんなで『赤鼻のトナカイ』を歌ったよ♪



かわいいぬいぐるみたちがたくさん登場
子ども達、よーく観てましたよ。

すいたファミリー・サポート・センター

〒565-0824

吹田市山田西4丁目2番43号

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館

のびのび子育てプラザ内

Tel・Fax：06-6816-8500



<E-mail>

familysupport@city.suita.osaka.jp

開設時間：9:30～18:00（月～金）



緊急連絡先

のびのび子育てプラザ

Tel：06-6816-8585

Fax：06-6816-8588